

VOCES 8

CHRISTMAS CONCERT

ヴォーチェス・エイト クリスマスコンサート

2012.12.23 (日・祝) 14:00 開演 (13:30 開場)

東京オペラシティ コンサートホール

SUNDAY, DECEMBER 23, 2012 at 2 P.M. TOKYO OPERA CITY CONCERT HALL

S ¥6,000 A ¥4,000

主催: KAJIMOTO

後援: プリティッシュ・カウンシル



彼らの
コーラス・サウンドには
“光り輝く” “光を放つ”
という表現が
相応しい。
ステファン・エディンス
(All Music)

PROGRAM

ダビデの村の厩の内に
Once in Royal David's City (arr: Voces8)

ガブリエルのメッセージ
Gabriel's Message (arr: J.Clements)

アイ・ガット・リズム(ガーシュウィン)
I Got Rhythm (Gershwin / arr. VOCES8)

59番街橋の歌(サイモン&ガーファンクル)
59th Street Bridge Song (Simon and Garfunkel / arr. VOCES8)

フィーバー(ブラックウェル)
Fever (Blackwell / arr: J.Clements)

ウェンセラスはよい王様
Good King Wenceslas (arr: J.Clements)

12日間のクリスマス
The Twelve Days of Christmas (arr: J.Clements)

オンリー・ユー(ヤズー)
Only You (Yazoo / arr. VOCES8 and Deke Sharon)

ペニー・レーン(ビートルズ)
Penny Lane (The Beatles / arr. VOCES8)

クレイジー・リトル・シング・コールド・ラヴ(クイーン)
Crazy Little Thing Called Love (Queen / arr: J.Clements)

ミー・アンド・マイ・シャドウ(ジョルソン)
Me and My Shadow (Al Jolson / arr: J.Clements)

スティール・アウェイ(黒人霊歌)
Steal Away (Trad.Spiritual / arr.D.Blackwell)

フリー・アズ・ア・バード(ビートルズ)
Free as a Bird (The Beatles / arr: J.Clements)

ヒイラギとツタ
The Holly and the Ivy (arr: B.Smith)

アウェイ・イン・ア・メインジャー
Away in a Manger (arr: J.Clements)

グッド・ヴァイブレーション(ウィルソン)
Good Vibrations (Wilson / arr: J.Clements)

ムーン・リバー
Moon River (arr. VOCES8)

ノーバディ・ダズ・イット・ベター(ハムリッシュ&ベイヤー・セイガー)
Nobody Does it Better (Hamlisch and Bayer-Sager / arr: J.Clements)

早く家へ帰りたい(サイモン&ガーファンクル)
Homeward Bound (Simon and Garfunkel)

ツイスト&シャウト(ビートルズ)
Twist and Shout (The Beatles)

きよしこの夜
Silent Night (arr: Tom Cockett)

ジングル・ベル
Jingle Bells (arr: B.Smith)

KAJIMOTO

“声”の最高級エンタテインメント

柴田克彦(音楽評論家)

あの歌声に包まれるクリスマスは、なんと素敵だろう……そう思わずにいられないのが、VOCES8のコンサートだ。

ルネサンス期以来の合唱大国イギリスは、1970年前後から、キングス・シンガーズ、タリス・スコラーズなど少数精鋭合唱団を続々輩出し、スウィングル・シンガーズも長く本拠を置いている。VOCES8は、その華麗な歴史に21世紀の風を吹きこむべく、由緒あるウェストミンスター寺院聖歌隊のメンバーを中心に2003年に結成された、男女8名のア・カペラ・グループ。伝統と出自を血肉にした、ハイ・クオリティの歌唱とフレッシュなハーモニーで、瞬間に頭角を現し、2011年日仏のラ・フォル・ジュルネ音楽祭では、実力を広く知らしめた。

特長は、各パート2名の混声4部(アルトはカウンターテナー)に

よる高精度の合唱と、同声を分離した多様な組み合わせが生み出す変幻自在の表現力。それと相まって、ルネサンス音楽やバッハ等の正統的ポリフォニーから、ジャズやポップスに至る多彩なレパートリーが魅力を成している。ユーモアまじりのMCも含めて、いわば“声の室内楽アンサンブル&エンターテイナー”なのだ。

2011年はブルックナーやレーガーの難曲を見事に聴かせたが、今回は、古今のクリスマス・ソングやビートルズ・ナンバー等々、見ているだけで楽しい演目が並び、彼ら一流のアレンジ力と柔軟性も存分に発揮される。

ア・カペラ好きに合唱愛好家、いや老若男女みな今年のクリスマスは、VOCES8で決まり!



V O C E S 8 ヴォーチェス・エイト (声楽アンサンブル)

『アカペラ・グループ“ヴォーチェス8”はただものではない——想像力をかきたてる表現力とバランスのとれたプログラムで圧倒的な存在感を示す』(クラシカル・ミュージック・デイリー)

イギリスの8人の若手歌手によって結成された、最前線をいくアカペラ・グループ。ルネサンスのポリフォニーからユニークな編成のジャズやポップスまで幅広いレパートリーを持ち、その素晴らしいパフォーマンスと洗練された歌唱力、声楽の可能性を最大限に活かして紡ぎ出す音色は非常に高い評価を得ている。

2003年にウェストミンスター寺院聖歌隊出身者たちで結成され、

2005年にイタリアのゴリツィア国際合唱コンクールで優勝。以降、イギリスをはじめ、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジアなどで精力的に演奏活動を行っている。

クラシック界とアカペラ界の両方で活動を展開し、2009年には、彼らの最初のアルバム『Evensong』がアカペラ・レコード大賞(CARA)にノミネートされた。

初来日となった2011年、ラ・フォル・ジュルネでのパフォーマンスで大好評を博し、今回が待望の初ツアーとなる。

チケットのお申し込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご利用いただけます。ホームページからお申し込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 176-133)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/wre/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

東京オペラシティチケットセンター (03)5353-9999

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。



カジモト・イープラス

一般発売: 9/16(日)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/2(日)12:00~9/7(金)18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]